

シリーズ名：緩和医療

月日	曜日	時限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項
				氏名	所属	
4.3	水	IV	総論（全人的苦痛も含めて）	月川 賢	寄附講座	①緩和ケアの概念 ②全人的苦痛の種類と原因
4.10	〃	〃	身体症状（痛み、ブロック、鎮痛補助薬）	井上 莊一郎	麻酔学	①がん性疼痛の種類と原因 ②疼痛のアセスメント ③疼痛緩和の薬物療法
4.17	〃	〃	チーム医療	沼里 貞子	看護部	⑧緩和ケアチーム ⑨ ホスピス・緩和ケア病棟
4.24	〃	〃	がん疼痛の薬物療法	岸本 真希子	薬剤部	①適応、オピオイドの種類と効果 ②タイトレーション ③レスキュードーズ ④オピオイドローテーション ⑤鎮痛補助薬 ⑥オピオイドの副作用と対策
5.8	〃	〃	身体症状（呼吸苦、倦怠感）	黒子 幸一(非)	寄附講座	⑤がん悪液質の概念と病状把握 ⑥全身倦怠感・呼吸困難の治療とケア
5.15	〃	〃	身体症状（食思不振、輸液）	鈴木 直	婦人科	③終末期における意思決定 ⑥終末期における水・栄養管理
5.22	〃	〃	精神的苦痛（コミュニケーションなど）①	櫛野 宣久	神経精神科学	適応障害・せん妄・抑うつ・不安
5.29	〃	〃	精神的苦痛（コミュニケーションなど）②	〃	〃	①死に至る心の過程 ②終末期患者とのコミュニケーション ③レスパイトケア ④悲嘆のケア（グリーフケア） ⑤遺族ケア
6.12	〃	〃	社会的苦痛（社会保障制度）	桑島 規夫 堀 貴子	M S C	在宅医療 社会資源
6.19	〃	〃	生命倫理（鎮静、安楽死）	佐野 文明	血液・腫瘍内科	鎮静（セデーション） ③安楽死 ④尊厳死、リビングウィル ⑥終末期における水・栄養管理 ⑦延命治療
6.26	〃	〃	非癌の緩和ケア	木田 圭亮	薬理学	心不全
7.3	〃	〃	小児緩和ケア	長江 千愛	小児科	小児の特殊性
7.10	〃	〃	生命倫理(DNAR/ACP)、	堀江 良樹	臨床腫瘍学	看取り ③終末期における意思決定 ⑤do not attempt resuscitation(DNAR) ⑧家族ケア（悲嘆のケア（グリーフケア））
7.17	〃	〃	地域医療・在宅医療・ホスピス	山田 祐司(非)	医学教育文化部門	①ホスピスケアの基準 ②生活の質（quality of life）の改善・維持 ③緩和ケア病棟（PCU） ④緩和ケアチーム ⑤在宅ホスピス・緩和ケア ⑥レスパイトケア ⑦悲嘆のケア（グリーフケア） ⑧遺族ケア
7.24	〃	〃	症例検討	月川 賢 櫛野 宣久 堀 貴子	寄附講座 神経精神科学 M S C	